

第 62 回 湘南科学史懇話会（2013 年 4 月 20 日（土）午後 2 時 30 分～6 時 00 分）

## 前衛と抒情の語り部・・・寺山修司の原風景について

講師：白石 征さん（劇作家、遊行舎主宰）

### ●講演概要

マッチ擦るつかのま海に霧ふかし  
見捨つるほどの祖国はありや

もし、誰かが私に、祖国か、友情か、どっちかを裏切らなければいけないとしたら、「どっちを裏切るか」と質問したら、私はためらわず、「祖国を裏切る」と答えるだろう。 —寺山修司—

彗星の如く戦後の昭和を駆け抜けた、寺山修司の活力あふれる芸術活動を間近の編集者として支え、没するまで交流を続けてきた白石 征さんが、寺山歿後 30 年にして今回、寺山自身の人生と作品とのかかわりを解明、47 年のその生涯を巡って、寺山作品の背後に隠されていた、黙示録ともいうべき寺山修司の原風景について、初めて語ります。

### ●講師プロフィール

白石 征（しらいし せい）

1939 年、愛媛県今治市生まれ。編集者として、寺山修司に関する書籍を多数出版、「寺山修司著作集」全 5 巻を山口昌男と共同監修。著書「新雪之丞変化」「小栗判官と照手姫」。

1990 年、演劇の世界に転身。「新雪之丞変化—暗殺のオペラ」、「落花の舞—暗殺のロンド」を作・演出。

1996 年、藤沢遊行寺を拠点として、まつりの演劇〈遊行かぶき〉を提唱、演劇活動を本格化。「小栗判官と照手姫」「一遍聖絵」「しんとく丸」、「中世悪党傳」三部作などで高い評価を得る。他に花田清輝「泥棒論語」「ものみな歌で終わる」、寺山修司「十三の砂山」、泉鏡花「爪の涙」、幸田露伴「五重塔」も舞台化している。2011 年、遊行かぶきの最新作として「さんせう太夫—母恋い地獄めぐり—」を発表。さらに 2012 年、説経節「信太妻」より「葛（くず）の葉」を発表。

●日時：2013 年 4 月 20 日（土）午後 2 時 30 分～6 時 00 分

●会場：藤沢産業センター（藤沢 NDビル）7 階 第 2 会議室

〒252-0052 藤沢市藤沢 109 番地（湘南 NDビル 7 階）

電話 0466-21-3811 JR・小田急藤沢駅（北口）徒歩 2 分

<http://www.cityfujisawa.ne.jp/center.html>

●参加費：1,000 円

●連絡先：猪野修治（湘南科学史懇話会代表） 〒242-0023 大和市渋谷 3-4-1

TEL/FAX 046-269-8210 email [shujiino@js6.so-net.ne.jp](mailto:shujiino@js6.so-net.ne.jp)

湘南科学史懇話会 <http://www008.upp.so-net.ne.jp/shonan/home.htm>